



12月5日にはクランツに2本目のロウソクを灯しアドベント第2週の礼拝を捧げます。園芸の会の皆さんがアドベントリースを玄関、エントランス、東門に飾ってくださいました。子ども達は献金箱やアドベントカレンダー、装飾などの製作、そしておうちの方々への内緒のプレゼント作りに励んでいます。

干し柿が揺れるゆり組前のデッキで、クリスマスキャロルを歌いながら絞り染に勤しむ年長児、テラスで日向ぼっこをしながら木工細工にやすり掛けを施している年中児、ほっぺたに緑色の紙粘土を付けたまま仕上げの飾り物を付けている年少児、大好きな人を思い描きながらのプレゼント作りです。その過程を知る私たち保育者は、とっても幸せな気分にならせていただいています。

クリスマス讃美礼拝は、預言者イザヤの役を担う年長児の「暗闇の中を歩く人々よ、ご覧なさい。全ての人を照らす真の光が来ようとしています。」の言葉で始まります。聖書は旧約聖書と新約聖書からなります。旧約聖書にイエス・キリストの誕生を預言する箇所は何か所かありますが、このイザヤの言葉もその一つです。

イエス・キリストが救い主（メシア）として生まれた日を祝うのがクリスマスですが、日本にその意味を知り祝う人は一体どれくらいいるのでしょうか。

キリスト誕生当時の人々は力あるメシアの誕生を待ち焦がれていました。しかし、そのメシアは強い政治力や権力で当時の人々を救うメシアではありませんでした。馬小屋で産声を上げ、飼い葉おけに寝かされた赤子、人々の過ちや重荷や弱さに寄り添い、罪や人生の負債を背負い身代わりにさえなって十字架にかかれた方、そんなメシアだったのです。全ての人、すなわち私の救い主となってくださった方のお生まれの日がクリスマスなのです。

子ども達が讃美礼拝を通し、真実のクリスマスを伝えてくれます。

真の光が皆様に届けられますように。

馬判 宣子



## おしゃべり会

11月27日おしゃべり会を、28日にじ組の給食試食会&おしゃべり会を行いました。とても有意義な時間を頂くことが出来、感謝でした。

おしゃべり会では年少さんが年長さんへの憧れから、「こうなりたい!」「こうしたい!」と強く思うことから、頑張ってやり通す力を発揮したことを、「側転に挑戦」の例からおはなしされました。またお休みのお友達へお手紙を書きたいとの気持ちから、文字を書くことに挑戦したこと、好きなお友達と遊びたい気持ちを自分から伝えることで自信を得たことなどをお聞きしました。

年少児の時の行事参加を通して心配がよぎるが、葛藤しながらも讚美礼拝で聖歌隊をやることに期待している年中さんの成長。

年長さんからは、褒め上手になった我が子は園で褒められているからなのか、母も褒められると嬉しい、褒め上手にならなければとのお話。

下の子に手がかかり、講演会でも年長懇談会でも十分に話が聞けず大切なことを聞き逃しているのではないかと心配になる。母の大変さを知りつつも我慢したり反抗したりしながら育つことにも意味があるのではないかと。周りの人(弟や妹も含め)との関係や環境からマイナスイメージではなく、それがむしろその子の強みにもなっていくのではないかなどを話し合いました。

次の日は11月に満3歳になったお友達を迎え、全員がそろったにじ組さんのお母様方と、にりん草さんの給食を試食し、お茶をしながらおしゃべりをしました。

自我を大切にしながらも少しずつ園ルールに馴染み、年少、年中、年長児に混ざり遅く遊んでいるにじ組さんのこの頃を語り合いました。

おしゃべり会では、何気ない会話から子育てのヒントや悩み解決の糸口や安心をもらえるのではないかと思います。この会の良さのひとつは親も縦の関係でおしゃべりできること。親しい人とおしゃべりとは一味違ったことが学び合える機会でもあります。お忙しいこととは思いますが、今後も気軽に(途中参加、途中退室も気にせずに)ご参加ください。園長もかつての子育て経験からの喜び、失敗、苦い思い、等々仲間に入れて頂いています。

次回は2019年3月に予定しています。

Noriko





ハレルヤがはじまりました



「今日ハレルヤあるかな〜?」「今日のハレルヤは誰が呼ばれるかな〜?」と朝からハレルヤを楽しみにしている年長さんたちがたくさんいます。体操後に役の名前が呼ばれた子どもたちは、クリスマスブックを持って、ウキウキした様子で遊戯室に集まります。カーテンが閉まり、少し暗くなっている遊戯室に入ると、いつもとは違う雰囲気興奮をしている子どもたちですが、リーダーの保育者が「さあ、お祈りをしてハレルヤを始めよう!」と声をかけると、一気に顔が真剣になり“ハレルヤモード”に入ります。

まずは緊張ほぐし、身体ほぐしのためにストレッチをし、簡単な発声練習をして、声出しをします。「あー、えー、いー、おー、うー」と口を大きく開けて、顔周りの筋肉をほぐしていると、緊張していた子どもたちの顔が少し緩んできます。

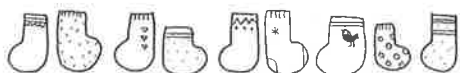
そのあと、順番にセリフや歌を歌っていきます。自分の番になると、声がいつもより小さくなったり、早口になったりと、緊張している様子が伝わってきます。それでも、覚えたセリフを思い出しながら一言一言一生懸命に言ったり、動きをつけて気持ちを込めて歌を歌ったり、とても真剣に取り組んでいます。

場面が終わると「はぁ〜緊張した〜!」と緊張感から解放され、笑顔になる子どもたち。その日一番の大きな声がでます(笑)

そして、場面を振り返り「〇〇くんのセリフ言うのが、とても上手だったよね!」「〇〇ちゃんの歌う声が素敵だった!」とお互いの良かったところを認め合える年長さんたち。また、「ここのセリフの時は、どんな気持ちなのかな?」「命令するところだから、もう少し強く言ってみるといいかな!」と、その場面の様子や、出てくる人の気持ちをみんな話しながら、役を深めていくこともできるところが、さすが年長さんだなと感じます。

また、わかばの部屋では、ハンドベルの役の子どもたちがハレルヤをしています。ハンドベルの子ども達、なかなか上手なようです♪ハンドベルを習っている子が多いわけでもないのにどうしてだろう…と保育者が思っていると、子ども達との会話から、ハンドベルコーナーに今までよく行っていたということがわかったそうです。ハンドベルが好きな子どもたちが集まったのですね。みんな心をつなげて奏でる素敵な音色を聴くのが、とても楽しみです♪

ハレルヤを通して、子どもたち一人一人が、神様から与えられた役と向き合うことで、自信をつけていくことができますように。そして、讃美礼拝当日は、心をこめて神様に礼拝を捧げることができますように、願っています。(あゆみ)



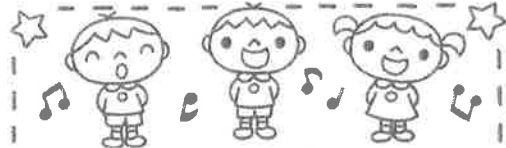


## 聖歌隊



### ☆クリスマスは…☆

「クリスマスはどんなことがあった日でしょう？」と質問すると、ほとんどの子が自信を持って、「イエスさまのおたんじょうびーっ！」とこたえてくれました。イエスさまがおうまれになった日のことを、紙芝居や絵本を使って、年中のあつまりやハレルヤの時間に話をしていきました。驚くほど静かに話を聞く子どもたちの姿に成長を感じ、嬉しく思いました♡



### ☆わたしたちは聖歌隊♪☆

ハレルヤの1日目。讚美礼拝の日に、『年中さんは、イエスさまの誕生の喜びを歌でみんなに伝える』ということ話をしました。「そのお役目を何というか知っている？」と聞いてみると、ひとりの男の子が「聖歌隊！」とこたえ、周りの子どもたちも次々と、思い出したかのように「聖歌隊！」と嬉しそうにこたえてくれました。

「さあ、早速うたってみましょ♪」と、遠くまできれいな声を届けるポイントを伝授！（是非おうちで子どもたちに聞いてみてください♡）初めて歌う讚美歌も、繰り返し歌う中で歌詞を覚え、自信を持って歌えるようになってきました。

そして、3日目のハレルヤ。待ちに待ったクリスマスブックをひとりひとりに手渡しました。年長さんが大切に持っている姿を見て、いいなあ…と憧れていた子どもたちもいました。手渡した時、深々と頭を下げて受け取る子、ありがとうございます！と受け取る子。手にしたクリスマスブックを嬉しそうに開く子どもたち。純粋な子どもたちの心に触れる素敵な瞬間でした♡

きれいな歌声を届けられるよう、子どもたちと一緒に準備していきたいと思います。



## 年少あつまりークリスマスを前に

ハレルヤ①②では、最初のクリスマスに何が起こったかを紙芝居を通して知りました。子ども達は、“ふ～ん”というような顔つきで話を聞いていました。クリスマスのイメージや自分の思っていたのと違うなあというような反応だったと思います。その後クラスや年少あつまりでクリスマスの話を繰り返し、聞いてきました。そんなある日、年少あつまりでの出来事です。

「クリスマスは誰の誕生日だったかな？」

「神さま！」

「うん、ちょっと違うかな」

「誰か！！」

「そう、誰かの誕生日だね。誰かな？」

.....

「イエスさまだ」

「当たり前」（ホッと胸をなでおろす保育者）



「どこで生まれたんだった？」

「フランス」

「えっ！」（驚きと笑い）

「違うなあー」

「外国」

「間違っではないけど・・・国じゃなくて、場所ね」

「馬小屋ダー」

「そう、馬小屋だったね」



「最後の問題ね。一番最初にお祝いに来たのは、誰だった？」

「馬だよ、馬小屋で生まれたんだから」


「違うよ、マリア様だよ」



どちらもイエス様に一番最初に会ったかもしれないなあ～と思いつつ、羊飼いと出てくるのを待ちました。子ども達はいたって真剣です。こんなに楽しい会話をしながら、クリスマスを迎える準備を進めています。

年長さん、年中さんのクリスマスに向かっていく様子からワクワクするような嬉しい気持ちを感じ取っていた年少さん、いつの間にか、訳もなくワクワクしていたように思います。そんな年少さんが、準備を進めるなかで、クリスマスの本当の意味を知り、心から待ち遠しくなるのも間近だと思います。

クリスマスを通して、神様の愛を知る機会になりますように。その過程を是非、一緒に歩んでください。

（まさえ )



少しずつクリスマスの本当の意味を理解してきた年少さんに、讚美礼拝の話をして、年少さんも配役を決定しました。

まず、天使・羊・星の登場するパネルシアターを見ました。どの子も真剣に見ていて、そのあとやってみたい役に分かれてみました。そして、天使のように優雅に歩いたり、羊さんのように歩いて眠る真似をしたり、星の輝きのように手をキラキラさせたり、どの子も役になりきってリズム遊びを楽しみました。

そのあとパペットを使い、衣装の紹介や自分の本当にやりたい役を選んで欲しいことなどを伝えました。最初にやろうかなと考えた役から、悩んだり、迷ったり、やっぱり最初からこれだと決めていたり…年少さんなりに、それぞれの思いがあり決定した配役です。

どの役も園で用意した衣装と冠を着用します。てんし・ほしは、洋服の上から白いケープを、ひつじは白い服を着用します。讚美礼拝中は遊戯室を暖かくしてあるため、衣装の下は薄着になれる服装をオススメします。また、女の子は冠をかぶりやすい髪型にしてくださいませようお願いいたします。

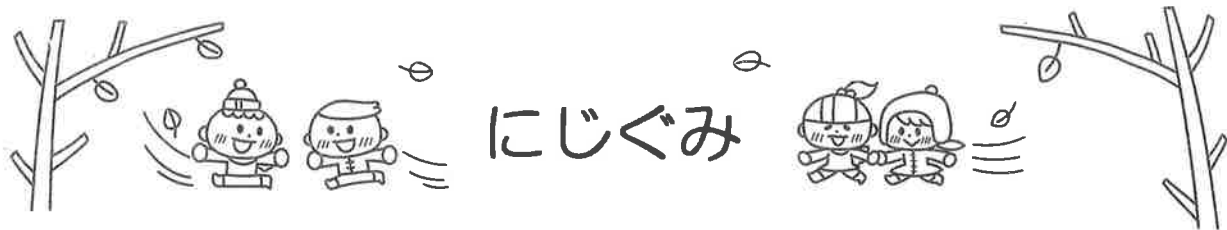
一度衣装を持ち帰りますので、お家で着てみて、下に着る服を検討してみてください。

さて、手や服が緑色になっていた日があるかと思います。もうお子さんから聞いているかもしれませんが、絵の具や紙粘土を使い、楽しくあるものを作りました！お散歩で拾ったドングリやビーズもつけて…♡

なにを作ったのか楽しみにしてください♪詳しくは、また次のこどもニュースでお伝えしたいと思います。

(ちあき★)





朝夕は冷え込むことが多くなりましたが、日中は温かく穏やかな日が続き、毎日外遊びを楽しんでいます。最近では泥んこだけでなく、泥んこ玉がさら砂をかけると固くなってきれいになることに気づいたにじぐみさん。さら砂づくりに興味を持ち、年上児が三輪車小屋の下で作っている姿を見て、見よう見まねで作っています。泥んこさら砂の感触の違いが面白く、泥んこが苦手な子も砂遊びを楽しんでいます。初めは小さなカップだけを手にしていましたが、スコップやざる、お皿など、どんな道具が必要かきちんと考えてせつせと自分で用意できるようになりました。

また最近では園庭で繰り広げられている道路にも興味津々！年上児たちが三輪車や自転車で通行したり、ガソリンスタンドや洗車場も営業しています。面白いことへのアンテナをピンピンさせて、するりと仲間入りを果たしてしまうにじぐみさん。お兄さんお姉さんたちから優しく、ときには怒られたりしながら三輪車を走らせたり、お店屋さんのお手伝いを楽しんでいます。毎日新しい展開がある道路ごっこ。子どもたちの生活力や想像力に感心させられっぱなしです。

遊びが終わったら、手を洗い、服が汚れてしまったら自分で着替えようとしています。衣類が厚くなって着替えるのも一苦労していますが、自分でできることはなるべく自分で出来るように頑張っています。つい私たちもお手伝いしてあげたくなくなってしまいますが、それも必要最小限に。子どもたちが自分でできるという達成感を味わう機会をどんな小さなことでも持てるようにしたいです。

☆°\* ☆\*。☆\*。☆\*。  
 ☆クリスマスってなあに？  
 \* ☆\*。☆\* ☆\*。☆\*



「クリスマスって知ってる？」との問いかけにほとんどの子どもが「??？」大きなお兄ちゃんがいる子は「おもちゃをもらえる日！」と答えてくれました。クリスマスって何だか嬉しい日、楽しそうな日ということを感じているようです。「本当はみんなのことが大好きで守ってくれている人の誕生日なんだよ。誰だと思う？」この問いかけには「おかあさん！」「かみさま！」と微笑ましい答えが出ました。1学期から少しずつ聖書のお話をしているので神様を身近に感じているにじぐみさん。どうして神様が救い主であるイエス様をこの世に送ってくださったのかをお話したときはとても真剣なまなざしで聞いてくれました。イエス様のお誕生についてのお話はこれからも引き続きお話してゆきたいと思います。こんなに小さなにじぐみさんがクリスマスの本当の意味を知って迎えられるクリスマスはとても豊かで貴重なものであると思います。

12月17日(月)ににじぐみではお部屋でささやかながらクリスマス礼拝を行います。おうちの方と一緒にイエス様のお誕生を祝い、クリスマスの喜びを分かち合えることをうれしく幸せに感じています。

その日を楽しみに準備を調べていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

Akie☆

